

令和 7年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：産業支援課
 担当名：渋沢M I X担当
 内線：3787

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P14	「渋沢M I X」イノベーション創出支援事業			一般会計	商工費	商工業費	商工振興費	新事業創出支援事業費	
事業期間	令和6年度～令和10年度	根拠法令	なし			針路	11 稼げる力の向上	SDGsゴール	4, 8, 9
						分野施策	1102 変化に向き合う中小企業・小規模事業者の支援	SDGsターゲット	4-4, 8-2, 8-3, 9-5
1 事業概要 様々な業種や規模の企業や起業家等の交流・マッチングによりイノベーションを創出する拠点である「渋沢M I X」の運営・管理を行うとともに、セミナーや交流会等のイベントの企画・実施、広報を行う。 また、オープンイノベーションの創出やスタートアップ支援、イノベーション人材育成のためのプログラムを実施する。 ア 施設運営費等(債務負担行為) △1,181千円 イ 施設運営費等 ウ オープンイノベーションの創出・促進 エ スタートアップの創出・成長支援 オ イノベーションを担う人材の育成				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 施設運営費等(債務負担行為) 167,222千円 イ 施設運営費等 4,560千円 施設の運営・管理を行うとともに、イベント(セミナー・交流会等)の企画・実施、広報を行う。 ウ オープンイノベーションの創出・促進 140,000千円 意識醸成セミナーやワークショップ、社会課題や企業課題を協業により解決するプログラムを実施する。 エ スタートアップの創出・成長支援 75,000千円 ステージ(シード期・アーリー期)に合わせた短期集中型の伴走支援プログラムを実施する。 オ イノベーションを担う人材の育成 7,409千円 学生向け起業伴走プログラムを実施するとともに、大学間ネットワーク会議の運営を行う。 (2) 事業計画 ・令和5年度 先行施設の調査・分析や基本計画の策定、運営事業者の選定準備 県内企業等へ施設開設後の活用を促すためのオープンイノベーションの普及啓発やアントレプレナーシップ教育推進 ・令和6年度 施設開設に向けた準備及び開設後の活用促進に向けたプレイベントの実施 ・令和7年度 施設の運営・管理及びイノベーション創出を支援する各種プログラムの実施 (3) 事業効果 ・様々な業種や規模の企業や起業家等が交流し、連携・協業へとつなげることで、新事業の創出や企業・地域が持つ課題の解決を図り、県内経済を活性化させる。 ・スタートアップの創出や成長を支援することで、イノベーションの担い手の増加を図り、持続的にイノベーションが生まれる環境を作り出す。 ・若者へのアントレプレナーシップ教育を推進することで、将来のイノベーションを担う人材の創出や起業家の増加を図る。 【活動指標(アウトプット)】プログラムやイベントの実施 244回 【成果指標(アウトカム)】プログラム等への延べ参加人数 2,555人 (4) 補正予算の概要 イ 企業データベース使用に係る契約期間短縮等により生じた執行残の減額 事務費の節減等により生じた執行残の減額					
2 事業主体及び負担区分 ア、イ(県10/10) ウ、エ、オ 【内閣府】新しい地方経済・生活環境創生交付金(国1/2・県1/2)									
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用)(款)地域振興費(細目)地域振興費(細節)地域振興共通経費									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×4.0人=38,000千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金	寄附金						
決定額	△1,181							△1,181	394,191
現計額	395,372	111,177	5,100					279,095	

事業内訳書

事業名	「渋沢MIX」イノベーション創出支援事業		
単位事業名	施設運営費等	予算額	△ 1,181千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△1,181	—	
合計	△1,181	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△239	—	事務費の節減等により生じた執行残の減額
需用費	△55	—	事務費の節減等により生じた執行残の減額
役務費	△80	—	事務費の節減等により生じた執行残の減額
使用料及び賃借料	△807	—	企業データベース使用料等の執行残の減額
合計	△1,181	—	